

おきたま米づくり情報 No.6

平成 29 年 7 月 6 日
オールやまがた米づくり日本一運動
置賜地域本部実践班

穂肥できる稲姿へ、直ちに中干し・作溝を！ 食味重視の米づくり → 生育診断に基づく、適期・適量の穂肥！ 葉色が濃い場合は必ず減肥しましょう

はえぬき、つや姫の生育は、「草丈：短く」、「茎数：平年並み～やや少なく」、「葉数：平年並み」、**葉色は「濃い」状況です**。田植後、低温やワキの影響で茎数が少なく経過したものの、天候が回復し、おおむね茎数が確保されている状況です。

出穂期は「平年並みから 2 日遅い」予想です。ほ場により生育差がみられるため、穂肥は品種、ほ場ごとに生育診断を行い、「穂肥できる稲姿になっているか」よく見極め、葉色が濃い場合は減肥する等、生育に合わせた対応を行いましょう。

今後の気象予報（1 か月予報：7/1～7/30）

気温：高い確率 70% 降水量：平年並みか多い確率 40% 日照時間：平年並みか少ない確率 40%

1 か月予報では気温が高い確率が高くなっているため、出穂期が予想より早まることも考えられます。穂肥は遅れず行いましょう。

生育状況（6 月 30 日現在）

平坦部はえぬきの生育（6 月 30 日、農業技術普及課生育診断ほ）

項目	川西町(5/20 移植)		飯豊町(5/15 移植)	
	調査値	平年比	調査値	平年比
草丈(cm)	37.8	84	40.7	82
茎数(本/㎡)	711	96	602	97
葉数(L)	9.1	-0.1	9.7	0.0
葉色 (SPAD)	44.6	+1.9	46.6	+2.7

つや姫の生育（6 月 30 日、農業技術普及課生育診断ほ）

項目	川西町(5/20 移植)		飯豊町(5/15 移植)	
	調査値	平年比	調査値	平年比
草丈(cm)	36.8	84	39.9	86
茎数(本/㎡)	502	90	532	99
葉数(L)	8.8	-0.1	9.9	+0.5
葉色 (SPAD)	42.8	+0.7	46.9	+4.1

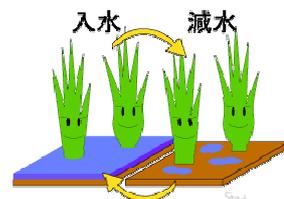
中干しがまだのところは、直ちに中干し！作溝とセットで効率的な水管理！

○中干し：田面に小ヒビが入る程度が基本です。

生育量大きい、やや葉色が濃いほ場 → 強めに

生育量小さいほ場 → 弱めに

○中干し終了後：間断かん水（2 日湛水・2 日落水）に切り替える。



中干しが不十分 ➡ **田んぼが締まらず上根が張らず、穂肥を施用しても期待する効果が得られない**

登熟期に根の活力が低下しやすく、品質・食味にマイナス

葉色濃い！生育診断に基づく穂肥を

○穂肥の施用時期は下表を目安にし、施肥量の判断はそれぞれの品種の生育診断に基づき行う。

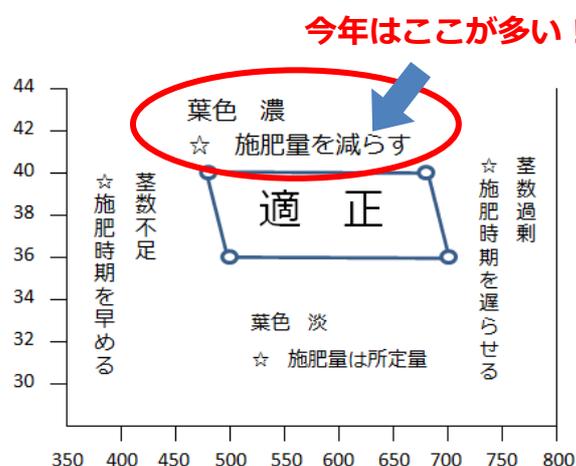
品種	出穂期 (平年)	出穂期 (本年予想)	穂肥の タイミング	穂肥時期の 目安	施肥量 (N kg/10a)
ヒメノモチ	7月31日	7月31日~8月1日	出穂25日前	7月6~8日	2.0
ひとめぼれ	8月5日	8月5~7日	出穂20日前	7月16~18日	1.5
はえぬき	8月6日	8月6~8日	出穂25日前	7月12~14日	1.5~2.0
つや姫	8月11日	8月11~13日	出穂30日前	7月12~14日	1.0~1.5
コシヒカリ	8月12日	8月12~14日	出穂18~15日前	7月25日~30日	1.0~1.5

【幼穂長と出穂前日数】 ~親茎をむいて幼穂の長さで判断~

幼穂の長さ (mm) : 出穂前日数 → 1mm : 26日 2.0mm : 20日 8~15mm : 18日 8cm : 12日

はえぬきの穂肥診断 7月上旬 (10葉期)

- 茎数と葉色が適正内であれば、追肥は出穂25日前、窒素成分 1.5~2.0 kg/10a を施用する。
- 茎数が700本/m²以上、または**葉色が40以上の場合**、窒素成分を減らし、**1.0~1.5kg/10a に減肥する。**
- 茎数が450本/m²以下の場合、穂肥時期を早める。



葉いもちに注意！

- 梅雨時期に入り発病に好適な気象条件になっています。
- 水管理の際に、しっかりほ場を観察し、**早期発見・早期防除を徹底！**



病害虫防除所情報ではカメムシの発生やや多い！

- 地域全体のカメムシの密度を減らすことが重要です。
- 7月20日頃まで畦畔・農道、雑草地の除草(草刈)を地域ぐるみでしっかり行う。
- 水田内のイヌホタルイやノビエの残草対策もしっかり行う。**アカスジの発生源に！**

※除草剤の使用時期を確認し、使用しましょう。



アカヒゲホソミドリ
カスミカメ



アカスジカスミカメ

STOP！農作業事故！

- ◎ 「もうちょっと…」という無理が重大事故につながります。
- ◎ 熱中症予防のために水分補給と休息をしっかりと取りましょう！

山形県農薬危害防止運動実施中！～農薬を使用する際は使用基準を再確認！その都度記帳！～